

# Iさんの場合

## 息子さんが知的障害（当時4歳）

居住地：仙台市泉区

インタビュー日：2024年4月11日

お話：Iさん

聞き手：橋本武美

橋 3.11のときは、どこにいましたか？

I じつは、こども病院のリハビリ室でした。こども病院って免震構造で、全体、揺れるんですよ。

橋 横揺れで、揺れを逃がして。

I そう。なので、物はぜんぜん落ちてなかったんですけど、我が家に帰ったらびっくりですよ。

橋 リハビリはお母さんと息子さんと二人で？

I はい。私と息子の二人で、車で行きました。

橋 それで、帰りは？

I 北環状線がとんでもなく混んでいて、揺れていましたしね。

橋 ずっと車のなか……？

I あと、途中でガスの匂いなんかもしてきましたしね。中山の観音様あたりが、ガスの匂いで充満してて。まあ、いまのガスって大丈夫らしいんですけど、爆発はしないみたいですけど、匂いはしてましたね。とにかく北環状線は混みまくってました。それで揺れながら帰って。

橋 いつもより時間がかかって……。

I そうですね。連絡がつかないですもんね。みんなと、家族とも連絡がつかなかった。

橋 最初のほうだけちょっと電話が通じたり、最初のほうだけメールも届いたんですけど。それでとりあえず家に帰り……？

I とんでもないことになっていましたね。病院はそうでもなかったんですけどね。

橋 一軒家？

I 一軒家で、靴を履いて入らないとガラスとかで危なかったです。で、うちの息子は、普通は靴を脱がなきゃいけないって考えじゃないですか。そして走り回りたいじゃないですか。だから、息子をどこに閉じ込めておくか。避難所へは行けなかったですし、やっぱり家で過ごそうと。こんな状況でも一角だけはきれいにして、なんとか息子を出歩かないようにガードして。まだよかったのは、息子が小さかったことですね。4歳。

橋 4歳だと、そのときはもう障害等級の判定は受けていましたか？

I ああ、受けていましたね。診断名は「精神運動発達遅滞」なんですけど、うちの息子は水頭症をやっている。知的にも身体的にも少し不便さが残っていて、障害者手帳まではいかないんですけどね。知的障害は重度でと。

橋 ごきょうだいがいますよね？

I はい、お姉ちゃんが。お姉ちゃんは友だちと公園で遊んでいたんですよ。

橋 何年生？

I 小3ぐらいだったかな。あれ、わかんなくなっちゃった……。

橋 いいよいよ、思い出しながらで。小学校に入っているくらいだったのかな？

I そうでしたね、小学校に入ったばかりくらいで、私たちがリハビリしているので、母がお留守番してくれました。それで、娘は公園から帰ってきて一緒に居てくれた。でも、こういうときは公園のほうが安全だろうということで、家のなかよりも公園にいなさいっていう感じで。みんな避難所に行くのは難しいので。

橋 それは、息子さんのため？

｜ そうですね。やっぱり。

橋 それで、いろいろ物は落ちているけど、家自体が傾いたりしているわけじゃないから、片付けて、家のなかにはいた？

｜ でも、全壊扱いではありました。

橋 そうだったの!?

｜ 結構な被害で。そういう場所だったんです。その後の修理のほうが、子どもがいると大変でしたね。

橋 すぐじゃなかったしね。とにかく手が足りなくて、助成の関係で役所の手続きはしなきゃならないけど、実際に人はぜんぜん回ってこない感じでしたね。

｜ リビング修繕するなら上に住んで、上を修繕する時は……大変でしたね、あの時期。家に修理で人がいるってこんなにストレスなんだっていう感じでした。

橋 とくに息子さんにとってはね。

｜ そうでしたね、本当に。でも、私たちもかな。トイレ行くにも洗濯機まわすにも、家に他人がいるって大変なんだっていう記憶はありますね。

橋 電気は？

｜ 電気は4日かな……水道は、電気より前でしたね。ガスは、うちはなかったの。

橋 プロパン？

｜ 全部電気。オール電化だったので。でも、ガスも遅い地域はすごく遅かったですね。

橋 うちはすごく遅い地域だったから、一ヶ月くらいかかった。お風呂入れてあげたかったね、とつても。そのときパニックになったりとか、逆に楽しくなっちゃう子もいたんだけど、どっち？

｜ 黙っちゃってて。

橋 なにがあったんだろう？

｜ 逆にいまになって、地震の怖さに気付いてしまって。

橋 地震の映像とか？

｜ いや、わかんないんですけど、「やばい、やばい」って逃げようとするんですよ。でも、「どこに逃げても同じだから」って。その当時は、きょとんとしていましたね。まだちょっと判断できていなかったというか。

橋 なにが起きているのかなって。それまで経験してないものだから、わかんないよ。

｜ きょとんとしてました。

橋 周りの大人も大変そうだから、本人的にも「なんだろう？」のままね。

｜ いまのほうが大変ですね。いまきたら、大変だったと思います。

橋 わかってるからね。

｜ 地響きとかで反応しないですか？ ゴゴゴゴゴゴ……。

橋 うちはすぐにテーブルの下にガって入るけど。

｜ ああ、なるほど。

橋 ストレスは、うちは映像とか。ニュースの女子アナが普通に映ってて欲しいとか、そっちのほうがあるんだけど。

うちの息子は結構固まって、すごい静かになっていくほうでした。ぜんぜんパニックも起こらないし、騒がないし、わがままも言わないけど、どんどんしゃべる口数がなくなって、どんどん表情がなくなってしまう感じだったと思うんですね。Iさんは、そこからしばらく、いつもと同じ日々じゃないけども、家のなかにもいて、お姉ちゃんもいて？

｜ そうですね、お父さんの仕事場もあったので、お父さんがすぐ仕事場に飛んで行って、会社もやってるので、まあ、「家のことは私に任せておいて」って。そしてお姉ちゃんには、このことがトラウマにならないように、それこそ楽しく過ごせるように、「今日はロウソクだね」って（笑）。ご飯とかも、「これゲットできたね!」とか、なるべく。

橋 お店も一人何点までとか、並んだし。コンビニはいつ開くかわからなかったし。

｜ 物がなかったですよ。

橋 でも、お母さんがいてくれれば。お母さん自体は動けた？ お嬢さんと一緒に。

｜ ああ、そうですね。父母と祖父母が近くにいましたからね。それこそ、「食料ゲット」とか言って、いろいろ出歩いたりしてましたね。そうですね、言われてみるとすごいな。そんなことやっていたんですよ。

橋 そうなのよ。

I でも私、なにも為になるようなこと……。

橋 いろんな意見というか、体験を聞きたいので。そういう家が全壊ぐらいの人の話ってこれまであんまり聞いてなかったから、あの辺はそうかって。

I でも、本当に自分の子がまだちっちゃかったのが、私たちはまだ救い。

橋 でもそこでさ、避難所に行かないっていう理由の一番ってなんだろう。やっぱり息子さんのために、息子さんが走り回っちゃうから、迷惑かけちゃうから行きたくないとか、逆に人のわさわさの中に入れない人だから行かないとか……。

I ちょっと私の弱いところですけど、息子は声を出すので、やっぱり人に迷惑をかけたくないっていうので、行かなかったですね。

橋 まあ、本人も辛いだろうし……。

I そうですね。我慢させなきゃならないし。それを考えると、リビングをなんとか改装して住んでいた感じでしたね。懐かしい。でも本当、私たちはそれぐらい。息子がちっちゃかったのはありがたいですね。大きかったら大変だったと思います。

橋 動きが激しい人だったら、そこに留めるというか、一箇所っていうのも難しいだろうし。

I 毎日行っていた学校とか、通ってたところに、しばらく行けなくなるし、目処も立っていない……。

橋 うちの息子はテレビのCMが大好きだったから。全部ACのCMに変わってしまって……（註：震災後は通常の企業CMの放送が見送られ、その空白を埋めるために「公益社団法人ACジャパン」のCMが繰り返し放送された）。

I あれ見ると、ちょっとトラウマでしたよね。

橋 すごく辛かったと思う、本人はね。

I あと、Eテレだけはつけていて欲しかったですよ。

橋 「自粛、自粛」で、バラエティー番組もやめてしまったりとか、いろいろあって。そのへんもそのあといろいろ声があって、「そういうときこそ笑いたい」とか「音楽番組やって欲しい」とか。あの頃は、関東のほうとかでも「自粛、自粛」って、東北の人たち大変なんだから、「節電、節電」とか。

I いまは、自家発電できるものとか考えるようになりましたね。息子、おとなしくできるようにね。

橋 ちなみに食べるものは、いろいろ食べられたのかな？

I そうですね。まだレトルトカレーとかが家にあったので。あと、うちの息子は肉であればなんでもよかったです（笑）。そこは助かりましたね。肉とカレーでなんとか。でも、どこかのメーカーの鮭じゃないと食べないとかいう方もいらっしやいますよね。いやあ、それ手に入らんやろっていうのしか……。そういう方は本当に大変だったと思います。あのとき、物が入ってこなかったの。

橋 わりと3.11のおかげで、食べられるものは、みんな増えた。

I ああ、空腹には替えられなかったのか。そうか、そうか。

橋 なにかが起きているとか、いつもとは違うっていうのは感じとっているから。食べられるものが増えた人は多い。

I そうか……。だってあのとき、空港もダメ、港もダメ、高速道路がダメ。

橋 ガソリンもなかなか入れられなかったし、ガソリンスタンドもすごく並んだし。

I とにかく物がなかったですよ。私、3日目ぐらいで、これヤベーなって。これは長引くようになって感じでしたよね。

橋 備蓄とかもあった？

I そうですね。あれから気をつけるようになりましたね。

橋 その3.11のときも、家に備蓄がわりとあったのかな？

I 「全部出せ！」ですよ（笑）。小麦粉練ろうか、とか。なんかもういろいろ全部出して、それをこう……。

橋 「どうしようかね〜」「どう食べようかね〜」

I あと、「どこでゲットできるかね〜」って。サバイバルでしたね、いま思えば。よくやりましたよ、うちら。

橋 うちの8階だったので、あまり下に降りたくなくて。エレベーターが動き出しても乗っているあいだにまた地震がきたらと思うと。しばらくエレベーターは使えなかったし。

I そうですね。8階すごいな。マンションはマンションの悩みがありますよね。

橋 そうそう、そうなのよ。

Ⅰ 一軒家とまた違う悩みなんだろうなあと。

橋 でも学校は、とくに支援学校には備蓄とかあって、本当に食べられるものに見直しをして。それぞれの防災リュックにその子が食べられるものを入れておくとか。

Ⅰ 先輩たちがきちんとしてくださっていたので、本当にそれはありがたいですね。いまも配布してます。備蓄交換の時期ですよ、とか。

橋 それで困った人がたくさんいたからね。

Ⅰ あと職業的にも、すぐに迎えに来られない方もいましたね。先生やっていたりとか、きっといろいろな理由ですぐに来られない方とかいるんだろうなって。

橋 当時は3食分、お水もペットボトルで500mlを4本くらい。なんとか本人が食べられるものを3回分くらいの目安で、リュックのなかに、とか。

Ⅰ いまはそれよりすこし軽くなってますね。でも当時からしてみたら、本当にそれくらい必要でしたね。

橋 でも、元日の、能登のね……（註：2024年能登半島地震）。ああいうのがあって、いつどこでなにが起きてもおかしくないって思って。地震じゃなくても水害とかでね、避難所に行かなきゃなんないとか出てくるかも。もうどこにいたって。

Ⅰ そうですね。もうこればかりは、わからないですね。

橋 でも、そういうときにね、避難所ってなんにも変わってないんだなって。そのあと、福祉避難所に、見直しをって行政も言ってる、見直しかけますってなっているけど、でも、ぜんぜん変わってないでしょう。まあ備蓄は、乾パンしかなかったようなところが変わっていたりしているけど、もし、いま小1ぐらいで重い知的障害があって、避難所に行けるかって言ったら、とっても難しいわけじゃない。だって、いまでも最初、体育館に雑魚寝するのは変わらないんだから。そこにはとてもとても連れて行けない。大人でもなかなか、いや行けない。なかなかじゃない、ぜんぜん行けない。

Ⅰ やっぱ、福祉避難所がどこか点々とあって欲しいですね。あと医療的ケア児の子たちは、自家発電というか、電気もそこにあって欲しいって思うだろうし。

橋 福祉避難所だけでも必ずそれはあって欲しい。

Ⅰ でも、自家発電ってお金かかるんですってね。

橋 トイレもね。その頃よくあった、体育館の横に、工事現場の人たちが使うようなトイレをドンドン置いていただいてもね。普通の人たちだって我慢して使うのを、彼らは無理だよな。

Ⅰ 確かにそうですねー。

橋 そういうことも、バリアフリー的なトイレがあつての福祉避難所なのかな。ね、難しいけど、どうなんだろう。

Ⅰ 声をあげていくことは大事でしょうね。

橋 福祉避難所ってハードではなくって、いまあるもののなかで直しつつ。たとえばいま災害が起こったら、やっぱり小学校の体育館に集まるでしょう。けどそういう支援がいる人たちは最初から教室へ。平らなところを通って、1階の教室を全部開放してます、とかね。途中で「しょうがないな、うるさいな」って動かすんじゃなくて、最初からそういうふうな。まあ福祉的な設備って難しいかな。ガランとしているとしてもほかの人たちから離れて、段ボールとかかぶって、簡易的な段ボールハウスとかつくったりすれば、まだいられるのかな。

Ⅰ きっと、経験したうちでしか言えないこともありますね。こういう経験したよっていうのを発信していくのは大事ですね。こういうことあるよって。私たちだってもう一回経験するかもしれないし。でもなんか、今度は淡々とやりそうですね。

橋 経験してれば。でもやっぱりハードの部分がぜんぜん変えられてないのは、どうしたって。なにがあったら一番いいんだろうなって。

Ⅰ そうですね。ちょっと、喉元過ぎれば……になってましたね。

橋 1月の能登の震災で、「あれ、保存水切れてる？」って見直しを考えた人はいっぱいいると思う、宮城でも。

Ⅰ そうですね。そして、こういうときこそ、こうして欲しい、ああして欲しいっていうのを届けられたらなっていうか。まあ、いまはお金しかできないですけど。

橋 そのさなかに居る人たちは、たぶん発せられないよね。私たちも、あのときはぜんぜん。たぶんそのときは言えなかった。「迷惑かかるから、ここにいます」って。どうしてそうしているのかも、別に発しない。周りのちょっとわかっていてくれる人たちもあるんだけど。

I 東北人っていうのもあるのかもしれないですよ。地域柄、忍耐強いから。地域性もあると思う。黙って我慢しちゃうところがありますよね。

橋 それが美徳的な感じはあって。でもやっぱり、ちゃんと「困ってます」って本当は言ったほうがいいんだよね。

I 言わなきゃ変わらないですよ。

橋 そう、それをすごく学んだの。ぜんぜん言えないほうだから。私も言っておけばよかったんだっていうのが、あとからね。

I 先輩方から、「お母さんの発信力が大事」って教わってきて。つまり、どう困っているか、こういうことで困っているって言わなきゃ伝わらないし、まず声をあげてみようって。相談支援とか、周りの人に「こういうことで困っているんです」って、お母さんの発信力も結構大事だよって。そうですね。

橋 でもそれは、学んだと言えば、学んだ。

I 確かに。言わなきゃいけないことは、言わなきゃいけないですしね。震災について、こんなところですよ。

橋 あのときは、放デイ（放課後デイサービス）とかも、送迎はできないけど連れてくれば預かってあげるよって人とかも聞いたことがあるんだけど。

I 私の行っていた療育施設は、「何日か預かってあげるから、お母さん、家のことやっておいで」って。「まず、子どもたちが安心できる家にしてください」って、日中、一時預かりを無料でしてくれて。3.11以降のことで、わりとすぐの頃でした。でもたぶん、ご自身の生活だってきっとままならないし、大変な時期だったと思うんですけど、日中、「私たちがみてるよ」って言ってくださったのは、本当にありがたかったですね。